

令和6年2月2日

まちづくり委員会資料

請願第14号

多摩川丸子橋硬式野球場の利用改善
に関する請願

建設緑政局

1. 請願箇所（多摩川丸子橋硬式野球場・上丸子天神町第4球場）の概要について

■案内図

<川崎市公園緑地図（抜粋）>



■野球場の概要

	多摩川丸子橋硬式野球場	上丸子天神町第4球場
所在地	川崎市中原区上丸子天神町地内（多摩川緑地上丸子天神町地区）	
施設の利用方法	硬式野球場	硬式野球場（練習用）
面積	13,459m ²	8,957m ²
開設年次	平成27年度	
使用料	2時間2,540円	2時間500円

■航空写真



2. 多摩川丸子橋硬式野球場・上丸子天神町第4球場について

(1) 多摩川丸子橋硬式野球場

- ・平成23年5月
国から日本ハム球団へ河川敷地の占用廃止に伴い、川崎市による河川敷地の占用開始
- ・平成25年11月～平成26年6月
等々力・丸子橋地区周辺エリア整備計画に基づき球場を再整備
- ・平成26年9月
球場名を「多摩川丸子橋硬式野球場」に決定
- ・平成27年4月～現在
多摩川緑地内の硬式野球場を適正に管理運営及び、利用調整するため、「多摩川緑地内硬式野球場管理運営要綱」（以下「要綱」という。）を制定し、現行運用開始

(2) 上丸子天神町第4球場

- ・平成30年10月
球場開設時（平成27年4月）は、軟式野球場として供用していたが、硬式野球場（練習用）に利用方法の変更を行い、要綱の対象球場に追加（以下「多摩川丸子橋硬式野球場・上丸子天神町第4球場」を「2球場」という。）

3. 要綱に基づく運用方法（利用手続き）について

(1) 球場利用登録申請について

・新規利用希望チームの登録審査は、公平性の確保を必要とすることや、硬式野球場は硬球を使用することから、利用者（プレイヤー）及び、他の多摩川緑地利用者に対しての安全確保が大変重要であり、不特定多数のチームに利用させることは危険なため、登録審査は市が行っており、次の登録条件を満たしているチームを利用チームとしている。
利用チーム数は運用開始時、7チームであったが、現在は5チームである。

【登録条件】

チームの登録の所在地は川崎市内であること。
 チーム名には「川崎（市）」又は区名などの川崎の由来の名称が付いていること。
 チームの構成は、選手、役員等の半数以上は川崎市民であること。
 チームの代表者が市内に在住していること。
 硬式野球を行うことを目的に定期的な活動を行うチームであること。
 組織的に構成されたチームで河川敷利用者に対する安全を確保できるチームであること。

(2) 利用調整について

・利用チームにより、3か月に1度、利用日の調整を行っている。

4. 利用調整の状況について

現在、球場利用登録している5チーム全てが民間の任意団体である「川崎硬式野球協議会」に所属しているため、当該団体により、土日・祝、夏休み等の利用調整が行われている。

5. 市立高校における硬式球場の必要性について

【現状】

市立高等学校の硬式野球部の活動につきましては、市内硬式野球場等の利用や、各学校の実情に応じて、自校のグラウンドや市外への遠征など創意工夫しながら、場所の確保に努めている。

多摩川丸子橋硬式野球場の利用については、現在、一部平日において、川崎市立橘高等学校及び、川崎市立川崎総合科学高等学校の2校が利用しておりますが、平日の更なる利用や土日等の利用希望も含めた調整を進めている状況である。

6. 請願の要旨に対する本市の考え方について

【請願の要旨】

現在、事実上1団体5チームによって独占使用されている多摩川丸子橋硬式野球場を、川崎市主導による民主的な運営方式に改める事によって、川崎市立高等学校の試合会場不足を解消して下さい。

No.	請願の内容	本市の考え方
1	現状、1団体5チームによる独善的且つ排他主義的な運用方式を全廃し、現在試行運用されている「川崎・上丸子天神町野球協議会」の数多い失敗から学んだ新たな組織、「川崎・上丸子天神町ベースボール協会」（仮）を立ち上げていただきたい。	<u>新規に利用を希望するチームがあれば登録条件に基づき、市が審査を行うこととなり、登録条件を満たせば利用も可能となっていることから、現行運用は排他主義的ではないと考えております。</u> また、利用調整については、現状、 <u>利用チーム全てが「川崎硬式野球協議会」に所属しているため、協議会が日程調整を行っておりますが、協議会に属さない新規チームの参加があった場合等には、市が状況を確認し、利用調整に加わるなど、適切に運用してまいります。</u>
2	新規小学生チームや一般成人軟式野球チームに使用する機会を捻出してほしい。	<u>硬式野球場は防球フェンスの設置等安全確保が必要なこともあり、市内で硬式球を使用できる球場は、河川敷2球場と等々力球場の3か所に限られております。</u> 多摩川丸子橋硬式野球場については、「 <u>等々力・丸子橋地区周辺エリア整備計画</u> 」においても、硬式野球のできる場所と位置付けていることから、現状の硬式専用球場としての運用の継続を考えております。 また、硬球を使用する新規小学生チームについては、 <u>登録条件を満たしていれば、利用する事は可能です。</u>
3	白球を追い続ける地元川崎の高校球児たちの願いを叶えていただきたい。	<u>市立高校硬式野球部については、登録条件を満たしておりますので、土日・祝日等、2球場の利用は可能であると考えております。</u> <u>今後、学校や教育委員会から利用希望があった場合については、適切に対応してまいります。</u>